

プレスリリース

日印連携による次世代コールドチェーンの構築

アイ・ティ・イー、CONCORと連携レインド初のネットゼロ対応 鉄道・陸運統合型低温物流プラットフォームを発表



2026年2月11日 | インド・ニューデリー

冷却技術を活用した省エネ低温物流ソリューションを展開するアイ・ティ・イー株式会社（本社：東京都千代田区、以下 ITE）は、ICE BATTERY India およびインド国営鉄道 Container Corporation of India Ltd.（以下 CONCOR）との戦略的連携のもと、ネットゼロ対応型「IceBattery® 鉄道・陸上コールドチェーン技術」をニューデリーにて発表いたしました。

本発表は『建国記念の日』に合わせて開催され、インドにおける脱炭素化のコールドチェーンインフラ整備に向けた日印協力の具体的成果として位置付けられます。

ディーゼル依存型低温輸送からの転換

インドでは農産品および医薬品物流における温度管理インフラの不足が課題となっており、廃棄の削減とエネルギー効率向上が急務とされています。

IceBattery®は、蓄冷技術を活用した独自の冷エネルギー貯蔵システムにより、従来のディーゼル/電力稼働型冷凍機への依存を低減します。

これにより、

- 燃料消費量の削減
- 電力のピーク負荷の抑制
- CO₂排出量の削減
- 輸送遅延や停電時における温度管理

を実現し、ESG 投資基準およびインド政府のネットゼロ政策との整合性を高めます。

鉄道・陸運を統合したマルチモーダル展開

本技術は、鉄道輸送および陸運輸送、さらには可搬型冷蔵設備までを包括するプラットフォームとして設計されています。

- 鉄道/海上用 ISO コンテナ : 40FT/20FT コンテナ
- 冷蔵トラック : 32FT/24FT/20FT/10FT トラック (ラストマイル配送向け)
- 可搬型冷蔵設備 : 20FT 冷蔵倉庫

これにより農産物、乳製品、水産物、医薬品など多温度帯の低温物流が可能となります。

CONCORとの戦略的連携および現地生産

ITEは、インド国内の鉄道コンテナ輸送で中核的役割を担うCONCORを戦略的パートナーと位置付け、鉄道低温輸送分野での導入拡大を図ります。

また、現地企業 Kalyani Cast Tech 社と「Make in India」製造に関する覚書を締結し、IceBattery®搭載コンテナのインド国内生産を開始します。

これにより、現地生産率向上、雇用創出、および持続可能な製造基盤の構築に貢献いたします。

関係者コメント

石田 忠正氏 (ITE 上級顧問、JR 貨物元会長・日本郵船元副社長) は次のように述べています。

「IceBattery®は、低炭素かつ高信頼性を両立する新たな低温物流モデルです。従来型システムの代替として、国際的な持続可能物流の基準を示す可能性を有しています。」

Sanjay Swarup 氏 (CONCOR 会長兼取締役) は、

「本技術は日本での実績を有し、インド環境下においても高い性能を確認しています。鉄道および海上物流でのさらなる拡大が期待されます。」

と述べました。

日印インフラ協力の新たな段階へ

本件は、日本の冷却技術、インドにおける製造基盤、ならびに CONCOR の鉄道ネットワークを組み合わせた戦略的連携であり、両国のインフラ協力が新たな段階に入ったことを示しています。

今後、インド国内のみならず、アジア・中東・アフリカ市場への展開も視野に入れ、低炭素型物流インフラの国際モデル構築を目指します。

会社概要

アイ・ティ・イー株式会社 (ITE)

日本を拠点とするクリーンテクノロジー企業。冷却技術を活用した持続可能なエネルギー・低温物流インフラソリューションを開発し、産業分野におけるネットゼロ化を推進。

IceBattery®（アイスバッテリー）

ITE が開発した特許取得済み蓄冷型コールドチェーン技術。信頼性の高い温度管理と、ディーゼル/電力非依存型の省エネ低温物流を実現。[<https://icebattery.jp>]

Container Corporation of India Ltd. (CONCOR)

インド鉄道省傘下のマルチモーダル物流企業。インド全土にターミナルおよび鉄道輸送網を有し、全国の貨物輸送インフラの中核を担う。[<https://www.concorindia.co.in>]